

## 「2020年アジア文化祭 in LONDON：蜷川実花作品展覧会」事前調査報告

楊 冠穹

関西外国語大学 外国語学部 助教

2017年度奨学生

アジア文化に関する研究を行うひとりとして、学校における教育や研究はもちろん重要だと思いますが、私は実践としての活動もさらに大事だと痛感しています。これまでに発生したことだけではなく、今現在この世の中に起きていること、そして将来の社会において、各国の文化交流に役立つような行動を実践することも、研究者にとって不可欠なことだと思います。特に、グローバル化が進むなか、アジア各国の交流と平和を促進、さらにアジアの文化を世界に発信することに力を尽くしたいと思っています。そこで、私は、アジアを代表して世界に発信できる日本文化・アートをより多くの人々に知ってほしいという考えから、あらゆるアーティストの芸術活動を手伝うことを自分自身の「実践」と決めて取り組んできました。

中でも代表的なのは、2017年11月に上海で行われた蜷川実花さんの個人展覧会です。2017年11月11日から2018年1月10日まで、二ヶ月間にわたって開催されたこの展覧会は多くの人々に来場していただき、日中の文化交流が以前より少なくなってきた今日においては大きな意味を持つイベントでした。その延長として、日本の現代アートを中国さらには海外へ発信するため、より大きな舞台で開催することが決まり、ロンドンにおいて展覧会が行われることが決まりました。

2020年、ロンドンにて「アジア文化祭」の一環として「蜷川実花作品展覧会」が開催されます。蜷川実花さんは日本を代表する女性写真で、2020年東京オリンピックの理事でもあるので、時期から考えても多くの注目を集めることになるでしょう。現地のスタッフはイギリスの方だけではなく、在英の日本人や中国人も多くおられます。私も自分の語学力と知識を活かして、このような有意義なイベントに貢献したくて、現地調査と事前打ち合わせなどの仕事を分担しています。今回のロンドンにおける現地調査は、このような背景の中で行われました。

今回の現地調査には、主に二つの目的があります。ひとつは、現地のイベント会社と打ち合わせして、今後の日程と具体的なプロセスや計画についてある程度決めること。もうひとつは、候補となる三つの会場を実際に見学して、どれを選定するかを決めること。そのために、ロンドンに到着した翌日に



ロンドンのレストランで打ち合わせ

は、まず一緒に食事をしながら話し合いをしました。



候補に挙げていただいた会場は合計三ヶ所あり、Somerset House、The Old Truman Brewery、そして OXO Tower & Barge House でした。いずれも展覧会やアート・イベントが頻繁に開催される有名な場所ですが、その中からもっともふさわしい場所を選んで、具体的なプランを立たなければなりません。

Somerset House はテムズ川を望むストランド地区南側にある大きな古典的な建物で、ロンドン大学付属のコートールド・ギャラリーを含むさまざまな政府関連機関、芸術・教育関連機関が入っています。実際に見てみたら、かなり素敵ではありますが、いかにも「ロンドン」の個性が強く、あまりアジア風のイベントには向いていないのではないかという皆さんの心配により、一旦保留にしようという結論になりました。

二番目の候補 The Old Truman Brewery はイーストロンドンの文化街にあり、数多くの美術展やアートビジネスが行われている町です。そのため、会場はいくつかのエリアに分けられており、さまざまなイベントの需要に応じて広さや間取りの調整ができるようになっています。

そして、最後は OXO Tower & Barge House です。この会場もいくつかのエリアによって構成されていますが、今回見学した結果、この中の「BARGEHOUSE」、「Gallery@OXO」、「Courtyard」の三つの隣接しているエリアを同時に起用することにしました。観客はおそらくテムズ川沿いの方から入ってくるので、テムズ川に面した小さな Gallery エリアを受付にして、入場したら広い Courtyard エリアで食べたり飲んだりし、最後に室内エリアである BARGEHOUSE で蜷川さんの世界に入るという動線で、みんなの意見が一致しました。



The Old Truman Brewery 見学中



しかし、そうなる Courtyard エリアをどういう風にデザインするかが重要な課題となりました。テーマはやはり「アジア文化」なので、いかにアジアの要素を取り入れて、ロンドンの観客が受け入れてくれるようにアレンジすると同時に、主役である蜷川実花さんの世界観を伝えるか、今回の打ち合わせの最も中心となる議題でした。すぐには答えを出すことはできませんが、ある程度の方角性を決めることができました。

また、日程の調整も行われました。蜷川さんは近年、写真だけではなく、映画やドラマの撮影にも手掛けており、今年 2019 年 9 月には『人間失格』が公開予定です。今回の展覧会は最初 2020 年 5 月に予定していましたが、その時期は新たな映画撮影が入ってしまうため、止むを得ず 7 月に変更しました。日程の変更に伴い、今後は会場との交渉やマーケティングの問題などを解決しなければなりません、同じ目標を目指して、異なる国のメンバーと一緒に努力するという事自体も、貴重な経験になると思います。



BARGEHOUSE の前で集合写真